長野高校（国際教養科）シラバス

学校番号	321

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校改訂版世界史Ａ(第一学習社)						
副教材等	プロムナード世界史（浜島書店） 改訂版世界史Ａワークノート（第一学習社）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じ、現在との関係を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２ 学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に参加しようとする姿勢を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に参加しようとする意欲、態度を示している。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史へのいざない	・自然環境と歴史 ・日本列島のなかの世界の歴史	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	ユーラシアの諸文明	・東アジア ・南アジア ・東南アジア ・西アジア ・ヨーロッパ	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質と、ユーラシアの交流について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ユーラシア諸文明と交流の特質を見いだし、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ユーラシア各地に形成された諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	結びつく世界近世の日本	・ヨーロッパの「大航海時代」 ・アメリカ大陸の変容 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパ主権国家体制の成立 ・17～18 世紀のヨーロッパ ・世界商業の展開 ・科学革命と啓蒙思想	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された時代の諸地域の特質を見いだし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形態	・農業社会から工業社会へ ・労働運動と社会主義のはじまり ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・イギリスに挑戦したナポレオン ・大西洋をはさんだ革命 ・ウィーン体制 ・イギリスの繁栄 ・二月革命と第二帝政 ・イタリアとドイツの統一 ロシアの近代化とバルカン半島 ・アメリカ合衆国の膨張	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:18世紀後期以降のヨーロッパ世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:18世紀後期以降のヨーロッパ世界の変貌の特質を見いだし、19世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:18世紀後期以降のヨーロッパ世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:18世紀後期以降のヨーロッパ世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	アジア諸国の変貌と近代の日本・帝国主義の時代	・世界市場の形成 ・オスマン帝国の衰退と西アジア ・南アジアの植民地化とインド帝国 ・東南アジアの植民地化 ・清の動揺 ・明治維新と東アジア ・中国分割の危機と日本 ・アジア諸国の変革 ・帝国主義の時代 ・列強の世界政策 ・アジア太平洋地域の分割とロシア	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:18世紀後期以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:18世紀後期以降の諸地域世界の変貌の特質を見いだし、19世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:18世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:18世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

3学期	世界戦争と平和	・第一次世界大戦 ・ロシア革命と対戦の終結 ・ヴェルサイユ・ワシントン体制 ・アメリカとヨーロッパ ・東アジアの民族運動 ・アジアの独立運動とラテンアメリカ ・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・日本の軍国主義と中国 ・第二次世界大戦の勃発 ・第二次世界大戦の終結	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	三つの世界と日本の動向	・戦後世界の出発 ・戦後の東アジア ・アジア諸国の独立 ・戦後の西アジア・アフリカ ・第三世界の台頭とラテンアメリカ ・変容する冷戦 ・中国の動揺とベトナム戦争 ・アメリカ合衆国の動揺	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。